

市民の声 訓練に参加



三郷地域区長会長
七日市場代表区長
みさわこういち
三澤 謙一さん
三郷明盛

緊張感をもって
災害に備えたい

普段と違う大規模な訓練に、参加した区民全員が真剣に取り組むことができました。区の自主防災体制も整ってから日が浅く、準備することはたくさんあります。区民全員が緊張感をもって災害に備えて行きたいです。

若者の参加を

災害から大切な命を守るための訓練ですが私たち若い世代の参加が少ないのが気になります。

日ごろから消防団活動や自主防災訓練に参加することで若い人にもぜひ防災について関心をもってほしいと思います。



市消防団
第3分団 分団長
まるやまえいいち
丸山 栄一さん
豊科高家

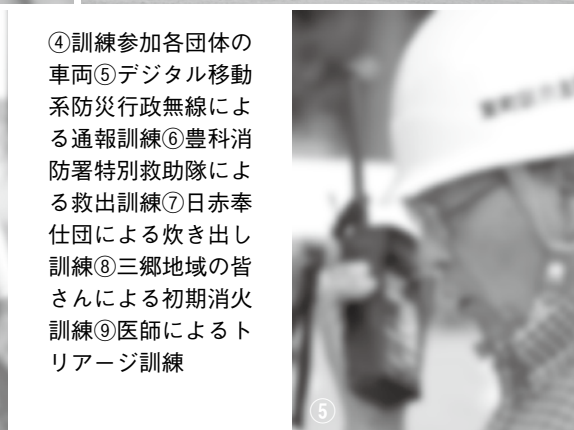
訓練を見学



家族で地震体験車を体験

かたぎりかずまさ
片桐 一正さん 三郷温

地震体験車に初めて乗ってみて、ものすごい揺れに驚きました。アパート住まいのため、災害時に避難場所などどうすればいいのか分からなく不安がありました。家族と確認し地震に備えたいと思います。



①三郷地域の皆さんによる救出訓練②消防団員による土のう作り訓練③松本広域消防局のはしご車を使った高所救出訓練



「糸魚川—静岡構造線断層帯」が縦断する安曇野市。市では、この断層を震源とする直下型大地震を想定し、防災週間（8月30日～9月5日）中の9月2日、三郷文化公園を主会場に総合防災訓練を行いました。

注目情報 1

整備した防災行政無線で
三郷地域内各区と訓練を実施

市総合防災訓練は、地域防災計画に基づいて行うもので、当日は、自主防災組織や市民の皆さんのほか、市消防団や市と災害協定を結ぶ医師会など計24の団体、企業約750人が参加し、避難訓練や救出訓練など34項目の訓練を行いました。また、昨年整備したデジタル移動系防災行政無線を使った通報・伝達訓練を初めて行いました。

30年以内に14%の確率で
M8.0の地震の可能性

市内には「糸魚川—静岡構造線断層帯」があり、国の地震調査研究推進本部によると、マグニチュード8程度の地震発生確率は30年以内に14%と公表されています。



ハザードマップで避難場所などを確認できます

- ・非常持出品の準備
- ・住宅の耐震化
- ・家具などの固定

問 堀金総合支所内危機管理室
(TEL) 72・6769 (FAX) 72・6739